

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 10 月 10 日現在

機関番号：32704

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21500726

研究課題名（和文） IT時代の赤ちゃんへのまなざし

研究課題名（英文） Gazing at infants in the IT age

研究代表者

谷村 雅子（TANIMURA MASAKO）

関東学院大学・人間環境学部・客員研究員

研究者番号：90014191

研究成果の概要（和文）：

IT機器の乳児家庭における使用実態と発達への影響を調べるため、首都圏3地区の乳児1847名を対象として縦断調査を行った。4ヶ月時の母や家庭のTV視聴習慣は既に4ヶ月児の発達にも関連し、11ヶ月時及び18ヶ月時の発達は各調査時の子ども、親、家庭の視聴習慣とも4ヶ月時の親や家庭の視聴習慣とも関連していた。乳幼児や親の映像メディア長時間接触は、児の運動量、児へのまなざし、親子の会話や信頼関係形成に影響する可能性を認識する必要がある。

研究成果の概要（英文）：

To investigate the effect of the usage status of IT devices in household with infants on their development, a longitudinal study of 1,847 infants in three districts of the Tokyo metropolitan area was done. The mother's and household's TV viewing habits at four months are already related to the child's development, and development at 11 and 18 months was also related to both the child's, parents', and household's viewing habits at each survey time and the parents' and household's viewing habits at four months. It needs to be recognized that toddlers' and parents' contact with video media for long hours may affect the child's amount of exercise, gazing of the mother and others at the child, and parent-child conversations and formation of trust between them.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 21 年度	1,800,000	540,000	2,340,000
平成 22 年度	800,000	240,000	1,040,000
平成 23 年度	800,000	240,000	1,040,000
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：小児生態学

科研費の分科・細目：生活科学・生活科学一般

キーワード：ライフスタイル、IT

1. 研究開始当初の背景

近年、乳幼児の言語・社会性や運動発達の遅延化が報告されている。現代社会では映像メディアを用いたIT機器（テレビ・ビデオ・DVD、携帯電話・メール、インターネット、PC、ゲーム等）が急速に発展してきた。これらのIT機器の普及で、親の子どもへの視線や親子の直接の関わり減少など、対人関係や運動時間への影響が懸念される。

2. 研究の目的

3～4ヶ月時と11ヶ月時または18ヶ月時のメディア接触状況や養育環境と発達に関する縦断調査を行い、乳児期早期からの子どもと親のメディア（TV（テレビ、ビデオ、DVD）、携帯など）接触の実態と子どもへの声かけ、子どもの発達や親への信頼感、親子関係等への影響を疫学的に把握し、メディアの適切な利用方法を提言する。

3. 研究の方法

(1)調査対象と調査方法

乳児および親のIT接触と発達に関する縦断調査を、首都圏3地区の保健センターの協力を得て、乳幼児健診対象児を対象として、初回調査を4ヶ月健診時に、追跡調査をA地区では11ヶ月時健診時に、BおよびC地区では1歳6ヶ月健診時に、無記名自記式質問紙法で行った。

質問紙は健診前に対象児の保護者に依頼状と共に保健センターから郵送し、健診当日に回収箱に投函していただいた。A地区については11ヶ月時用の調査票も初回調査票と同時に送付し、それぞれの健診時に回収した。

両調査の回答者の照合のため、シールを2枚同封し、好みの4文字を書いて1枚は初回調査の質問紙に添付し、他1枚は母子手帳に貼っておいて11ヶ月時調査あるいは1歳6ヶ月時調査の回答紙に貼付していただくよう依頼した。

調査項目は、4ヶ月健診時調査、11ヶ月時調査、18ヶ月時調査とも、親子のTV視聴、母の携帯使用、授乳時のIT接触、養育環境と発達。

(2)回収と解析対象

3~4ヶ月児1847名(回収率89.4%)、10~11ヶ月児298名(回収率69.6%)、18ヶ月児1483名(回収率94.3%)の回答が得られた。10~11ヶ月時と18ヶ月時については保育園児を除く、227名と1195名を解析対象とした。

4. 研究成果

(1)3~4ヶ月児の家庭のメディア習慣と発達

①3~4ヶ月児のTV接触状況(表1、図1)

3~4ヶ月児に見せるためにTVをつけている家庭は各地区、22.6%、36.5%、29.5%であったが、子どもの近くでTVがついている時間は一日平均3時間32分、4時間11分、4時間11分を占め、いずれの地区でも多くの子どもが長時

表1. 3~4ヶ月児のTV接触状況

	A地区	B地区	C地区
調査対象児	366名	693名	788名
男児	178名	340名	393名
女児	188名	353名	395名
子どもに見せるためにTVをつける	22.6%	36.5%	29.5%
子どもの近くでTVがついている時間			
平均時間/日	3:32	4:11	4:11
12時間以上	1.9%	6.6%	6.4%
近くでTVがついているとき、子どもは			
全然見ない	7.7%	1.8%	2.5%
ちらっと見る	27.6%	25.1%	21.7%
じっと見ることもあり	64.7%	73.2%	75.8%

図1. 子どもの近くでTVがついている時間/日

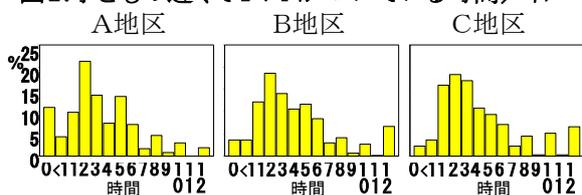


表2. 3~4ヶ月児の母の授乳時のメディア使用

表2① 授乳時の母のメディア使用率

	A地区	B地区	C地区
TVを見ることあり	74.7%	77.6%	79.8%
携帯を使うことあり	51.4%	58.4%	57.3%

表2② 授乳時のメディア使用と子どもへの視線

	いつも子どもを見る率	
授乳時にTVを見ない	84.6%	***
見る(時々、いつも)	66.9%	
授乳時に携帯使わない	78.4%	***
使う(時々、いつも)	65.9%	

表2③ 母の授乳時と日常のTV視聴

	授乳時にTV見ない	授乳時TV見る(時々・いつも)	
4ヶ月児の母のTV視聴時間/日	2.4±2.5	4.5±3.3	***
児の近くのTV時間/日	2.4±2.2	4.6±3.1	***
11ヶ月児の母のTV視聴時間/日	1.6±1.4	2.9±2.0	***
児の近くのTV時間/日	1.6±1.4	3.4±2.2	***

表2④ 母の授乳時と日常の携帯

	授乳時携帯使わない	授乳時携帯使う(時々・いつも)	
4ヶ月時のメール平均送信数/日	2.8±2.4	4.6±4.9	***
平均受信数/日	3.7±4.1	6.0±7.2	***
11ヶ月時のメール平均送信数/日	2.4±3.0	4.6±3.7	***
平均受信数/日	3.0±3.8	5.6±6.7	***

表2⑤ 授乳時のTVと携帯使用

	授乳時にTVを見ない	授乳時にTVを見る(時々・いつも)	
授乳時の携帯使用率	36.7%	61.8%	***

(日常の母のTV視聴時間とメール受信数との相関

$$r=0.115 **)$$

** : p < 0.01

* : p < 0.05

+ : p < 0.1

間接触している実態が示された。12時間以上ついている家庭も0.9%、6.6%、6.4%あった。

②3～4ヶ月児の授乳時と10～11ヶ月時のメディア使用(表2)

3～4ヶ月児の授乳中にTVを視聴することがある母は、74.7%、77.6%、79.8%、携帯の使用は51.4%、58.4%、57.3%で、そうでない母に較べて授乳中に子どもの様子を見る率が有意に低かった(①②)。

授乳中にTVを見る家庭は見ない家庭に較べて、3～4ヶ月時および11ヶ月時の母のTV視聴時間や子どもの近くのTVがついている時間が有意に長く、授乳中に携帯を使用する母は使用しない母に較べて一日のメール送信数が3～4ヶ月時、11ヶ月時とも有意に多く、授乳中のTVや携帯使用の有無は日常のそれぞれの使用習慣と関連していた(③④)。

また、授乳中の両者の使用も、一日の両者の使用頻度もそれぞれ相関性が示された(⑤)。

③4ヶ月児の発達とメディア環境(表3)

4ヶ月時に、首座り、腹這いにするとう頭を上げる、ガラガラを握る、知らない人が来ると表情が変わる、授乳時に目が合う、授乳時に母を見る子どもの方がそうでない子どもに較べ、母のTV視聴時間や子どもの近くのTVがついている時間が少なく、手や玩具をなめる、音のした方に首を廻す子どもの方が母の視聴時間や近くのTVの時間が長い傾向が見られた。また全体的に発達が遅い群の方が授乳時にTVをいつもつけている率が高い傾向が見られた。

母の携帯使用については、授乳中に目が合わない群の方が授乳中にいつも携帯を使用する率が高い傾向が見られたが、メールの一日の平均送受信数は少なく、その他の発達項目に関しても発達が早い群の方が一日の携帯メール送受信数や授乳時の携帯使用率が多かった。携帯を使う母の性格を反映しているのかも知れない。授乳中の携帯使用は子どもへの視線が妨げられ易いので、愛着形成への影響が懸念されていたが、今回の調査では特に発達の遅れとの関連性は見られなかった。

(2)11ヶ月児の発達と11ヶ月時および4ヶ月時のTV環境

①11ヶ月児の発達とTV環境(表4)

11ヶ月時に、つかまり立ちや人見知りをしない子どもの方が子ども自身の視聴時間が長い傾向が見られた。また、ほめられると同じ動作を繰り返す、痛い時に親に訴える、親に見せたい物をもってくる子どもの方が母の視聴時間や近くのTVがついている時間が短い傾向が示された。子ども自身の長時間視聴の影響と親の長時間視聴の影響は少し異なる可能性が考えられる。

ビデオを繰り返し見たがる、視聴中ににこっと笑って一緒に見ている人の顔を見る、画面を指さす、画面の登場人物に声をかける子どもの方が子ども自身の視聴時間が有意に長く、近くのTVがついている時間や母の視聴時間も長い傾向が示された。TVを介して、共感や家族とのコミュニケーションの体験に繋がっていると推察されるが、ビデオの反復視聴などにより長時間視聴が習慣化する可能性も懸念される。

②11ヶ月児の発達と4ヶ月時のTV環境(表5)

11ヶ月時に意思を伝えるために指差したり声を出す子どもの方がそうでない子どもに較べて、4ヶ月時の母のTV視聴時間が有意に少なく、子どもの近くのTVがついていた時間も少ない傾向が示された。また、つかまり立ちやバイバイ、見せたいものをもってくる子どもの方が4ヶ月時の母のTV視聴時間が少ない傾向がみられた。

他方、11ヶ月時にビデオを繰り返し見たがる、視聴時に親の顔を見る、画面を指さすなど、TVへの関心やTVを介した親への働きかけが多い子どもの方が、4ヶ月時に近くのTVがついていた時間や母のTV視聴時間が長い傾向が示された。また、マンマンマン等の声をよく出す、痛い時に親に訴えることについても同様の傾向が見られた。

上記の様に、11ヶ月児の発達と子どもの近くのTVがついている時間との関係は4ヶ月時と11ヶ月時とで異なり、母の応答を要する発達項目が4ヶ月時と11ヶ月時の母の視聴時間と関連する傾向が示された。

表3. 4ヶ月児の発達とメディア環境

	児の近くのTV時間/日		母の視聴時間/日		授乳時いつもTVを見る率(%)	
	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群
首座り	4.10	< 4.60	4.03	< 5.00 *	3.42	< 4.62
腹這いにするとう頭・肩を上げる	4.12	< 4.52	4.08	< 4.55	3.36	< 6.52
ガラガラを握る	4.09	< 4.51	4.08	< 4.51 +	3.49	< 4.71
音のした方に首を廻す	4.13	> 3.81	4.08	> 3.42	3.45	< 4.34
手やおもちゃをなめる	4.15	> 2.92 +	4.11	> 2.45 *	3.44	< 5.56
知らない人に表情変わる	4.27	< 4.40	4.13	< 4.48	3.34	< 4.74
誰もいなくなると泣く	4.12	4.13	4.03	< 4.31	2.70	< 3.57
気に入らないとむずがる	4.19	4.05	4.05	< 4.40	3.38	< 4.52
授乳時、目合わず	4.74	> 4.09 +	4.77	> 4.05 *	3.16	< 3.52
授乳時、母を見ない	4.31	> 4.08	4.38	> 4.02 +	3.34	< 3.54

	母の携帯メール		授乳中、いつも携帯使う率	
	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群
首座り	8.78	> 8.24	1.36	> 0.00
腹這いにすると頭・肩を上げる	8.69	> 8.22	1.32	> 0.00
ガラガラを握る	8.81	> 8.49	1.43	> 0.00
音のした方に首を廻す	8.84	> 6.85	1.29	> 0.00
手やおもちゃをなめる	8.83	> 6.42	1.27	> 0.0
知らない人に表情変わる	9.28	> 8.49	1.57	1.42
誰もいなくなると泣く	8.95	> 8.55	1.52	> 0.62
気に入らないとむずがる	8.73	8.89	1.57	> 0.00
授乳時、目合わず	7.07	< 8.92 +	2.17	> 1.25
授乳時、母を見ない	8.82	8.81	0.68	< 1.46

表4. 11ヶ月児の発達とTV環境

	児の視聴時間/日		児の近くのTV時間/日		母の視聴時間/日	
	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群
つかまり立ち	1.74	< 2.29	3.27	> 3.05	2.86	> 0.69
マンマン、ナンナン等の声をよく出す	1.77	1.85	3.26	3.30	2.81	3.00
人見知り	1.59	< 2.15	3.04	< 3.72	2.79	2.74
バイバイする	1.74	1.69	3.24	3.17	2.71	< 2.92
「いけません」と言うと手を引っこめる	1.89	> 1.61	3.37	> 2.71	2.89	> 2.67
「ちょうだい」というと渡す	1.78	> 1.54	3.33	> 2.89	2.72	2.71
ほめられると繰り返す	1.73	1.61	3.14	< 4.05	2.86	3.00
痛いと訴える	1.86	> 1.50	3.28	3.40	2.80	< 3.60
意思を伝える為、指差したり声を出す	1.81	> 1.46	3.29	> 2.83	2.73	< 3.04
見せたい物を持ってくる	1.83	1.79	3.02	3.07	2.34	< 2.98
ビデオを繰り返し見たがる	2.25	> 1.61 *	4.77	> 3.00*	3.08	> 2.72
視聴時ににこっと笑って親の顔を見る	1.98	> 1.04 +	3.50	> 2.65	2.82	> 2.16+
画面を指さす	2.20	> 1.32 +	3.56	> 2.90	2.91	> 2.62
画面の登場人物に声かけ	2.22	> 1.41 +	3.42	> 3.21	2.94	> 2.72

表5. 11ヶ月児の発達と4ヶ月時のTV環境

11ヶ月児の発達	4ヶ月時の 児の近くのTV時間/日		4ヶ月時の 母の視聴時間/日	
	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群
つかまり立ち	3.65	3.33	3.49	< 4.00
マンマン、ナンナン等の声をよく出す	3.70	> 3.20	3.56	> 2.75
人見知り	3.55	3.83	3.61	> 3.28
バイバイをする	3.62	3.54	3.29	< 3.78
「いけません」と言うと手を引っこめる	3.61	< 4.05	3.57	3.41
「ちょうだい」というと渡す	3.45	< 3.83	3.49	3.37
ほめられると同じ動作を繰り返す	3.46	< 4.15	3.61	> 3.17
痛いと訴える	3.69	> 2.13	3.60	> 2.88
意思を伝える為、指差したり声を出す	3.46	< 4.58	3.31	< 4.90 *
見せたい物を持ってくる	3.43	3.49	2.97	< 3.65
ビデオを繰り返し見たがる	4.33	> 3.59	5.17	> 3.38
視聴時ににこっと笑って親の顔を見る	4.02	> 3.49	4.01	> 2.96
画面を指さす	4.12	> 3.49	4.02	> 3.27
画面の登場人物に声かけ	3.67	3.76	3.63	3.46

表6. 18ヶ月児の発達とTV環境

	児の視聴時間/日		児の近くのTV時間/日		母の視聴時間/日	
	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群
平らな道ならころばずに歩く	2.33	< 2.57	3.65	< 4.00	3.14	3.07
小走りすることがある	2.32	2.37	3.68	> 3.37	2.81	< 3.14
スプーンを持ち自分で食べようとする	2.34	2.43	3.66	> 3.46	3.13	3.17
積み木やブロックを重ねる	2.33	2.45	3.59	< 4.39+	3.08	3.14
親指と人差し指でモノをつまめる	2.34	< 3.13	3.66	< 4.50	3.14	3.17
親の顔をうかがいながら、いたずらする	3.23	> 2.70	3.65	< 3.88	3.11	3.04
おいしいモノを食べると「オイシイ」と話す	2.37	2.26	3.88	> 3.35**	3.24	> 3.01
欲しいものがあると「チョウダイ」と言ってもらいにくる	2.30	2.36	3.74	> 3.48	3.13	3.15
意思を伝えるため指さしをする	2.34	2.29	3.64	3.81	3.11	> 2.68
意味のある単語を2つ以上言う	2.32	2.50	3.62	< 3.90	3.10	< 3.35
簡単な言いつけを理解して行動する	2.33	< 2.63	3.65	< 4.15	3.13	3.15
「チョウダイ」というと相手にわたす	2.34	< 2.63	3.66	< 4.31	3.13	< 3.50
ほめられると同じ動作を繰り返す	2.35	2.20	3.67	> 3.29	3.17	> 2.61
他の子ども達に興味を示す	2.33	2.44	3.61	< 4.13	3.09	< 3.30
痛い時に親に訴える	2.35	> 1.90	3.65	< 4.20	3.11	> 2.60
ビデオの特定場面を繰り返し見たがる	2.63	> 2.27+	3.81	3.63	3.21	3.15
歌や台詞のまねをして声を出す	2.42	> 2.21	3.61	> 3.34	3.02	3.05
登場人物の動作のまねをすることがある	2.48	> 2.19*	3.69	> 3.39	3.07	3.05
にこっと笑って一緒に見ている人の顔を見る	2.39	> 1.90+	3.70	> 2.42**	3.22	> 2.53
一緒に見ている人に声を出したり画面を指さして示す	2.39	2.31	3.66	> 2.87	3.18	> 2.67
夢中で見ていて話しかけても気付かない	2.59	> 2.21+	3.74	> 3.47	3.03	2.99

表7. 18ヶ月児の発達と4ヶ月時のメディア環境

18ヶ月児の発達	4ヶ月時、近くのTV時間/日		4ヶ月時、母の視聴時間/日		4ヶ月時の送受信数/日	
	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群	発達該当群	非該当群
平らな道ならころばずに歩く	4.35	< 4.57	4.25	4.23	8.97	> 7.83
小走りすることがある	4.39	> 3.62	4.29	> 3.46+	8.97	> 7.91
スプーンを持ち自分で食べようとする	4.37	> 3.57	4.24	4.08	8.94	> 7.18
積み木やブロックを重ねる	4.33	4.31	4.22	> 3.73	8.67	> 7.69
親指と人差し指でモノをつまめる	4.35	> 3.67	4.24	> 3.00	8.90	< 9.33
親の顔をうかがいながら、いたずらする	4.33	< 5.00	4.20	< 4.75	8.94	> 8.38
おいしいモノを食べると「オイシイ」と話す	4.50	> 4.18	4.34	4.19	9.11	> 8.33
欲しいものがあると「チョウダイ」と言ってもらいにくる	4.38	4.32	4.18	4.36	9.19	> 8.36
意思を伝えるため指さしをする	4.30	< 5.06	4.20	> 3.83	8.86	< 10.30
意味のある単語を2つ以上言う	4.26	< 4.80+	4.18	< 4.55	8.69	< 8.93
簡単な言いつけを理解して行動する	4.33	> 4.09	4.22	4.08	8.70	> 8.37
「チョウダイ」というと相手にわたす	4.38	> 2.50	4.25	> 3.00	8.85	> 4.71
ほめられると同じ動作を繰り返す	4.33	4.15	4.23	> 3.59	8.67	> 7.48
他の子ども達に興味を示す	4.34	> 4.02	4.24	> 3.72	8.90	> 7.03
痛い時に親に訴える	4.31	> 3.40	4.20	> 3.40	8.88	> 7.00
ビデオの特定場面を繰り返し見たがる	5.01	> 4.20+	4.45	> 4.14	9.72	> 7.72
歌や台詞のまねをして声を出す	4.23	4.08	4.15	4.26	8.48	> 7.45
登場人物の動作のまねをすることがある	4.32	4.21	4.26	4.07	9.28	9.48
にこっと笑って一緒に見ている人の顔を見る	4.32	> 3.74	4.32	> 3.22	8.81	> 7.26
一緒に見ている人に声を出したり画面を指さして示す	4.34	> 3.92	4.35	> 3.85	8.74	< 11.82
夢中で見ていて話しかけても気付かない	4.98	> 3.98*	4.48	> 3.84*	9.31	> 7.57

(3) 18ヶ月児の発達と4ヶ月時および18ヶ月時のTV環境

① 18ヶ月児の発達とTV環境(表6)

平らな道を歩く、親指と人差し指でものをつまむ、などの運動発達は子ども自身の視聴時間や近くのTVがついている時間が少ない方が早い傾向がみられた。有意語を2つ以上話す、簡単な言い付けを理解するなどの言語発達は子どもの視聴時間や近くのTVの他、母の視聴時間も少ない傾向がみられた。11ヶ月時と同様、発達項目により、子ども自身の長時間視聴が関連する項目と母の長時間視聴が関連する項目があることが示唆された。

他方、TVの特定の場面をくりかえし見たがる、歌や台詞や動作の真似をする、一緒に見ている人に共感を求めたり、質問する、夢中で見ている話しかけても気づかないことがある子どもは、視聴時間や近くのTVがついている時間が長い傾向がみられ、子ども自身のTVへの感心が11ヶ月時点より強く関連している様子が窺われた。

② 18ヶ月児の発達と4ヶ月時メディア環境(表7)

18ヶ月児で意味のある単語を2つ以上言う、親の顔をうかがいながらいたずらをする子どもの方が、4ヶ月時に近くでTVがついている時間も母の視聴時間も短い傾向が示された。

TVの特定の場面をくりかえし見たがる、一緒に見ている人に共感を求めたり、質問する、夢中で見ている話しかけても気づかないことがある子どもの方が、4ヶ月時に母の視聴時間や近くのTVがついている時間が長い傾向がみられた。乳児期早期からのTV長時間接触はTV好きになり易いのかもしれない。

(4) まとめ: 4ヶ月時の母や家庭のTV視聴習慣は既に4ヶ月児の発達にも関連し、11ヶ月時及び18ヶ月時の発達はそれぞれの月齢時の子ども、親、家庭の視聴習慣とも4ヶ月時や授乳時の視聴習慣とも関連していること、発達項目により、子ども自身の長時間視聴が関連するものと親の長時間視聴が関連するものがあることが示唆された。母の携帯の使用と子どもの発達の遅れとの関連性は本調査では認められなかった。

親の視聴習慣の乳幼児の発達への影響はこれまで注目されていなかったが、親や乳幼児の映像メディア長時間接触は、運動時間や親子の会話時間の減少、親子の信頼関係の形成に影響する可能性があることを認識する必要がある。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

- ① Tanimura M. Infants are interested in humans - Analysis of infants' behavior toward television. Child Research Net Web Site <http://www.childresearch.net/RESOURCE/P>

[RESEN/index.html](http://www.childresearch.net/RESOURCE/P). 査読無, 2011.

- ② 谷村雅子. 赤ちゃんはヒトに興味をもつ—赤ちゃんの対テレビ行動の解析より—. 東アジア子ども学交流プログラム報告集. 査読無, 2巻, 2010, 70-73.

[学会発表] (計11件)

- ① 谷村雅子, 大熊加奈子, 土谷みち子. 4ヶ月児家庭のメディア接触と発達. 日本発達心理学会第23回大会, 名古屋, 3月10日, 2012.

- ② 谷村雅子. 子どもとメディア. 日本小児科学会小児救急市民公開フォーラム, 千葉市, 11月5日, 2011.

- ③ 谷村雅子. メディアと子どもの発達. 第31回児童図書館員養成専門講座. 東京, 7月2日, 2011.

- ④ 谷村雅子. ヒトを惹きつける赤ちゃんの不思議. 赤ちゃんサミット in 境港, 境港市, 10月9日, 2010.

- ⑤ 谷村雅子, 大熊加奈子. IT時代の赤ちゃんへのまなざし. 第57回日本小児保健学会, 新潟市, 9月18日, 2010.

- ⑥ 大熊加奈子, 谷村雅子. 乳幼児の好みのビデオソフト視聴時の脳活動—成人例での計測より—. 第57回日本小児保健学会, 新潟市, 9月18日, 2010.

- ⑦ 谷村雅子, 大熊加奈子. 乳幼児のテレビ・ビデオ長時間接触とコミュニケーション発達. 日本発達心理学会第21回大会, 神戸市, 3月27日, 2010.

- ⑧ 谷村雅子, 赤ちゃんはヒトに興味をもつ—赤ちゃんの対テレビ行動の解析より—. 第5回東アジア子ども学交流プログラム(テーマ: 情動の子ども学), 上海市, 11月3日, 2009.

- ⑨ 大熊加奈子, 谷村雅子. IT時代の赤ちゃん. 第56回日本小児保健学会, 大阪市, 10月30日, 2009.

- ⑩ 谷村雅子, 大熊加奈子. 1歳半児がテレビの近くで過ごす時間と発達. 第56回日本小児保健学会, 大阪市, 10月30日, 2009.

- ⑪ 谷村雅子, 大熊加奈子. 20年前の1歳半児の対人経験と家族形態. 日本発達心理学会第20回大会, 東京, 3月24日, 2009.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

谷村 雅子 (TANIMURA MASAKO)

関東学院大学・人間環境学部・客員研究員
研究者番号: 90014191

(2) 研究分担者

大熊 加奈子 (OKUMA KANAKO)

日本女子大学・人間社会学部・学術研究員
研究者番号: 00399487

土谷 みち子 (TSUCHIYA MICHIKO)

関東学院大学・人間環境学部・教授
研究者番号: 00389868